

平成23年度第8回医学部看護研究倫理委員会議事要旨

日 時 平成24年1月16日(月) 16時13分～16時53分
場 所 看護学科棟1階 学科長室
出席者 内田 宏美 委員長、足立 経一 委員、三瓶 まり 委員、
八塔 累子 委員、藤田 委由 委員、飯塚 雄一 委員、
加藤 博康 委員 (7名出席)
欠席者 秦 美恵子 委員
委員以外の出席者 研究申請者(原 祥子 教授)

本委員会は、本学医学部看護研究倫理委員会規則第5条第1項の定めるところにより成立したものである。(定足数6名以上の委員の出席 かつ 5号委員又は6号委員の出席 の要件具備。)

議 事

1. 看護研究申請書の審査について

課題名：認知症高齢者の入浴ケアにおける「さ姫」ローズ水を用いた芳香療法の有用性

・・・・・・・・・・資料1

内田 宏美 委員長から、資料1のとおり看護学科地域看護学講座 原 祥子 教授より申請があったので、審議願いたい旨の説明があった。

続いて、当該申請者から研究の概要等についての説明がなされて、各委員から同人に対して質疑等が行われた。

審議の結果、本件申請について承認した。

2. 報告事項

内田 宏美 委員長より、前回の委員会で審議した案件について、(1)佐藤美紀子 助教 及び (3)廣野 祥子 助教 に係るものについては、当委員会での指摘事項に基づいて修正した上で、「平成23年10月17日付け承認」とし、(2)江藤 剛 助教に係るものについては、「本委員会での指摘事項を修正し、それを委員長が確認したときをもって承認とする」とした案件であるが、その後、同人から「今回は、当該申請を取り下げ、時季等を変えたもので再度申請したい。」旨の申出があったとの報告が行われた。

(1)申請者：看護学科臨床看護学講座 助教 佐藤 美紀子

課題名：成人看護学実習Ⅰ（急性期）における看護学生の成功・無力体験との関連要因

（２）申請者：看護学科臨床看護学講座 助教 江藤 剛（えとう つよし）

課題名：園芸活動を通して在宅高齢者および大学生の生理心理的に与える影響

（３）申請者：看護学科地域看護学講座 助教 廣野 祥子（ひろの さちこ）

課題名：県庁所在地に原発のある県民の放射線災害に対する不安と環境負荷を軽減する行動の実態

審査結果：平成２３年１０月１７日 承認

併せて、前回の議事要旨を了承した。

３．その他

次回の当委員会の開催日時については、定例の第２月曜日、平成２４年２月１３日（月）１６時１５分からとした。

以上